

探究 ひとを想い
先駆する青年たれ

一般社団法人 和歌山青年会議所

www.wakayama-jc.net

Report

2019年7月18日(木) 和歌山県立体育館

7月度例会

例会委員会 副委員長 出口清崇

2019年7月18日、和歌山県立体育館にて7月度例会を開催いたしました。本例会では講師に金本知恵氏をお招きし、「逆境に打ち勝つ鉄人の思考」をテーマにご講演いただきました。あいにくの悪天候でありましたが、一般来場者は1084人を数え、近年にない多数の方にご来場いただくことができました。

講演会の前半はトークセッション形式で進行し、コーディネーターを務めていただいた株式会社スポーツニッポン新聞社の山本浩之氏とのテンポの良いトークは興味深い内容であり、来場者の感嘆の声が上がる中、ときにはジョークを交えて会場を沸かせる様子が印象的でした。

後半の質疑応答では、混乱を避けるため事前に頂いた質問に限って金本氏にお答えいただく予定でしたが、金本氏のご厚意でその場での質問も受け付けていただけになり、来場者の方が次々と質問し、指名を受けようとする来場者の熱気で会場は大いに盛り上がりしました。

終わってしまえばあっという間の90分間で、終始来場者の皆様の笑顔や喜び、驚きの声が響き合い、大盛況のうちに幕を閉じました。

抽選で20名の来場者に金本氏のサインをお渡ししましたが、小学生くらいの少年も多数おられ、記憶に残る素敵な思い出になったことと思います。

本例会の開催にあたり、設営段階からご助力いただいたメンバーの皆様、そしてご協力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



講師の金本知恵氏と山路理事長



山路理事長の開会挨拶



講演の様子



講演の様子



金本氏の入場セレモニー



講演の様子



大勢の市民が駆けつけました



事業を担当した例会委員会

サマーコンファレンス LOMナイト

総務委員会 委員長 橋野 史

7月20日(土)、7月21日(日)、公益社団法人日本青年会議所の運動を広く発信するために、各界を代表する著名な有識者をお招きし、政治・経済・社会など様々なジャンルのファンクションを開催する場としてサマーコンファレンス2019がパシフィコ横浜の地で開催されました。

わたくしたち総務委員会では、日本青年会議所へと出向されているLOMメンバーを激励するとともに、メンバーにとにかく楽しんでもらいたいという想いでサマーコンファレンスLOMナイトを企画、設営しました。事業が重なる中、遠方の地であるにもかかわらず51名という多く

のメンバーにご参加いただいたことを深く感謝します。

横浜という和歌山から離れた地で、普段とは異なる雰囲気の中、余興ではいつもは見られない一面を披露してくれるメンバーもあり、終始笑顔で盛り上がる中、大盛況のうちに終わることができました。参加した多くのメンバーから「楽しかった」という声をお聞きし、和歌山LOMメンバーの絆がより一層深まったLOMナイトを行えたことと確信することができました。

ご参加いただいたみなさま、本当にありがとうございました。



子どもまちなかラボの岡崎大輔様



山路理事長の入場セレモニー



感極まった松下理事長候補者に駆け寄るメンバー



盛り上がるLOMナイト



子どもまちなかラボさんが会頭特別賞を受賞



LOMナイト記念撮影



サマーコン会場前にて記念撮影

親子七夕のゆうべ

国際交流委員会 委員長 西畑元博

7月7日(日)、和歌山市せせらぎ運動公園にて開催されました親子七夕のゆうべに本年度も参加しました。昨年度は雨天中止のため今年は2年ぶりの開催となりましたが、多くの親子連れで賑わいました。

地元の紀の川中学校吹奏楽部による「夕暮れコンサート」も行われ、親子で演奏に聞き入って楽しまれている姿が見られました。演奏の後には私たち和歌山青年会議所メンバーが「笹飾り焼き」のお手伝いを致しました。願い事が

書かれた笹をお預かりする際には、手渡される子どもたちの色々な想いが伝わってきます。子どもたちの願いをお預かりする意義深い事業だと肌で感じることができました。

近畿地区大会亀岡大会と日程が重なってしまいましたが、遠く京都亀岡の地から駆けつけてくださったメンバーや和歌山に残っていたメンバーにもご参加ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。



笹を受け取る様子



担当した国際交流委員会のメンバー



焚き上げの様子



山路理事長による点火



山路理事長による点火

第35回わんぱく相撲への参加

会員開発委員会 委員 池下雄基

第2回わんぱく相撲和歌山県大会を勝ち抜いた力士が第35回わんぱく相撲全国大会へ出場するため、その応援に駆けつけました。

本年度は大会前日の8月3日にわれわれ会員開発委員会が担当する紀州おどりへの参加事業があるため、大会当日の早朝から会場である東京墨田区総合体育館へ赴くという弾丸ツアーとなりました。山路理事長を始めとする他の委員会のメンバーも駆けつけてくださり、和歌山青年会議所全体で力士を応援しました。

和歌山場所・県大会と取組を見てきたため思い入れも強く、4年生の尾野祥幸君が1回戦で勝利したときには歓声を上げて喜びました。

5年生の小野田大地君の取組では土俵入りから仕切り線に手をつく仕切りまでに本当に長い長い駆け引きがありました。立ち合いで右手が相手の左脇を抜けてしまいかわされて負けてしまいました。ご両親の元に帰って来てからお

父さんからいろいろと指摘されていましたが子供がよい結果を残せるように教え導いて行く父親の姿を見ることができました。

6年生の橋爪楓芽君は3回戦まで勝ち進みました。6年生というわんぱく力士としての最終年、和歌山を代表してみんなの希望を背中に受けて取り組む姿は非常に頼もしく感じられました。結果としてベスト16に残ることは叶いませでしたが、そんな橋爪君の姿を見て他の選手たちが来年も全国に出場してがんばりたいという声を聞いたときは、この事業に携わることができて本当によかったと心から感じるすることができました。

行くときに私だけ電車に乗り遅れ駅に取り残されるというハプニングもありましたが、子供たちの姿を見て私たちも多くのことを学ぶことができた事業となりました。

山路理事長はじめ他の委員会メンバーの方々には、遠方まで応援に来ていただき誠にありがとうございました。



6年生の橋爪楓芽君の豪快な投げ



4年生の尾野祥幸君の勝利



春日野部屋でちゃんこを頂きました



開会式



開会式



春日野部屋に泊めていただきました



和歌山のわんぱく横綱橋本楓芽くんを囲んで



有田J.C、御坊J.Cと一緒にがんばったよ！

紀州おどり

会員開発委員会 委員 谷口竜一

昭和44年に始まり本年度で51回目となる紀州おどりが開催され、和歌山青年会議所として連を結成して参加しました。

担当する会員開発委員会では、われわれの青年会議所活動を多くの市民の皆様に発信するためにはどのような手段をとるべきかと議論を重ねました。その結果、本年度の活動を端的に表現した「ひとを想い先駆する青年たれ」という本年度のスローガンをアピールすることとし、公式キャラクターである「わとらん」をモチーフにした山車を制作してそこにスローガンを掲げることになりました。

和田委員長を筆頭に委員会メンバーが協力して手作業で山車作りを進めました。メンバーが協力して一つの山車を作り上げるという作業を通じて、艱難辛苦を共にすることでメンバー同士の絆が深まり、友情を深めることができました。

また、山車を完成させることができたのは、他の委員会の皆様の連日の激励のおかげであると感じております。

今年は梅雨入りが遅かったため、本番の天気が懸念されるところではありましたが、メンバーの心意気を通じたのか、紀州おどり当日は夏らしい快晴となり、沿道にはたくさんの市民がつめかけました。山車を曳き、ぶんだら節の音頭に合わせておどりながら練り歩いていると、沿道からたくさんのご声援を頂くことができました。

紀州おどりは毎年10万人を超える人が訪れ、和歌山市民から愛され続けている伝統あるお祭りです。その晴れ舞台でメンバーが協力して作成した山車を披露することができ、和歌山青年会議所の存在を多くの方に知っていただくことができたと思います。

皆様のご参加、ご協力、誠にありがとうございました。



紀の川一斉清掃

地区大会準備委員会 委員長 田邊 武

2019年7月21日(日)、今年も国土交通省の主催する「紀の川一斉清掃」が行われ、現役メンバーとその家族にて参加しました。毎年7月と定められており、場所は紀の川大橋～市民スポーツ広場～鳴滝川合流点及びその対岸で実施されます。

当日は幸運にも天候に恵まれ、会場は他団体や一般市民の方々がたくさん集まっており、和歌山青年会議所メン

バーも近畿地方整備局指導の下、清掃に励みました。

紀の川河川敷に不法投棄されたお菓子の袋や缶、ペットボトルのゴミなどを袋いっぱい拾い集めました。この運動がこれからも紀北を代表する河川である紀の川の景観を保ち、さらにその周辺に住む我々住民が紀の川を愛することに繋がればと思い、今後も参加していきたいと思います。



2019年7月4日(木)～12日(金) 軽井沢プリンスホテル

第32回国際アカデミー

公益社団法人日本青年会議所 国際アカデミー委員会 委員 松田紗世

2019年7月4日(木)から2019年7月12日(金)までの9日間にわたり、軽井沢の地にて第32回国際アカデミーが開催されました。

7月4日(木)～7日(日)までは世界78か国から集まった海外デリゲイツ(国際アカデミーへの参加者のこと)をお迎えし、様々なおもてなしで日本文化を楽しんでいただきました。

7月8日(月)からは100名を超える国内JCIデリゲイツも参加し、本体事業が始まりました。2016年度JCI会頭パスカル・ディケ先輩をメイン講師にお迎えし、海外・国内デリゲイツが5日間に渡るモジュールをともに経験することにより、文化的背景の相違、多様な価値

観を受け入れ、行動する意義を学ぶことができました。グローバルリーダーとして育成されるこの事業はまさに恒久的世界平和につながる架け橋になるものだと感じました。

私自身この事業に参加したことにより、海外・国内デリゲイツとの交流を通じて世界の現状を感じることができ、自己成長へとつながる経験をさせていただきました。在籍期間が2年以上残っているメンバーは国内デリゲイツとして参加することができますので、一度参加してみることを強くお勧めします。

このような貴重な機会を与えてくださった山路理事長と快く送り出してくれた国際委員会メンバーに感謝します。ありがとうございました。



Day5. モジュールの様子



メイン講師パスカル・ディケ先輩



モジュールの様子



卒業式の様子



海外デリゲイツエクスカーションの様子

9月度告知

SDGsを身近に！2030年までの目標を作成する9月度例会

2019年9月18日(水)午後7時(受付開始午後6時30分)

9月度例会は、『SDGsを身近に！2030年までの目標を作成する9月度例会』と題して、和歌山市立中央コミュニティセンターにて開催します。SDGsをより身近に感じながら理解を深めていただくために、カードゲーム「SDGs de 地方創生」をグループに分かれて体験していただきます。また、カードゲームを通して得た知識を基に青年経済人として、自分たちに何ができるかを考え行動に移す目標を設定していただくと考えています。この機会に世界で注目されているSDGsと一緒に学びましょう。例会委員会一同、皆様のご参加をお待ちしております。

(例会委員会 委員長 田代紘規)

9月 スケジュール

6	金	第17回財政規則審査会議	事務局
10	火	第18回三役会	(株)ナルセ
11	水	和歌山ブロック財審	事務局
12	木	理事会	和歌山商工会議所
18	水	例会	中央コミュニティセンター
20	金	韓国議政府青年会議所公式訪問団受入 中止	
21	土		
22	日		
24	火	第18回財政規則審査会議	事務局
		近畿地区正副会長会議	堺高石
25	水	近畿地区役員会議	堺高石
26	木	第19回三役会	(株)ナルセ
28	土	委員長会議	あいあいセンター
29	日	第9回委員会協議所会議	和歌山

わとらんが行く！和歌山市が誇る企業の現場 「幸福湯」編

取材協力：幸福湯 4代目店主 中本有香様(和歌山市北休賀町31)

1 幸福湯の成り立ちを語りたい

幸福湯は昭和31年に曾祖父が創業し、地元に密着した銭湯として近隣住民のみなさんにご利用いただきました。昭和56年に建物を建て替えましたが、浴場施設の老朽化のため平成30年11月に一時閉店し、建物を改装して平成31年4月25日にリニューアルオープンしました。曾祖父、祖父、両親と事業を継いできましたが、リニューアルオープン時に私が後を継ぎ、4代目店主として営業を続けています。

2 地域に愛される銭湯を続けたい

私は大阪の大学で保育士の資格を取り、大阪の保育関係の会社で働きましたが、職場環境が思っていたよりも過酷で続かず、和歌山の実家に戻ってアルバイトなどをしながら次の仕事を探していました。

昭和56年に建て替えてから40年近く経ちますので、浴槽からお湯が漏れていたり、床が抜けたりといろんな問題が出ていました。全面的にリニューアルして営業を続けるのか、それとも部分補修を続けながらできるところまで続けて閉業するのかということを経営で話し合っていました。私自身、小学生のころから番台に座ってお店に慣れ親しんでいましたので、お店を閉めたくないという気持ちはありましたが、だからと言って私がお店を継ぐという意識はなく、まるで他人ごとのように家族が話しているのを聞いていました。

そういうときに、行きつけの喫茶店やバーで友だちや居合わせたお客さんから「銭湯を残して欲しい」という声を耳にしました。常連さんたちからもそうした声を聞くことが多くなり、うちのお店が地域のみなさんに愛されてきたんだということを実感するようになりました。

私は保育士の資格を持っていたのですが、保育士の仕事は限られた方としか交流を持つことができず、保育士を続けたいという強いこだわりがあったわけではありません。その点、銭湯は老若男女あらゆる方と交流を持つことができますし、最近では近くのゲストハウスに宿泊する外国の方も利用してくれますので、番台に座していると楽しく、自分の性格に合っていると思っていました。

そうしたことをいろいろ考えて、お店を継ぎたいと両親に話しましたが、両親からは強く反対されました。まだ社会人としての経験の少ない私が店主として銭湯を続けていくことは大変なことですし、両親の反対を受けて私自身も将来に対する不安を感じることもありました。それでも銭湯を続けたいという気持ちの方が勝り、最終的には両親も賛成してくれて銭湯を続けることになりました。

3 レトロだけど新しい銭湯を目指したい

昨年11月に配水管が破裂するというトラブルのために、予定よりも早くリニューアルのための休業に入ってしまった。

リニューアルするときには、昔からのレトロな雰囲気を残すように心掛けました。今風の新しい浴槽に変えてしまうとスーパー銭湯のようになってしまいますが、そこで競争しても勝てるわけがありません。今では珍しいレトロな券売機を残したり、ロッカーも昔からあるものを選びました。もちろん銭湯らしく番台は残し、お客さんとのコミュニケー



ションの場にしています。気をつけないといけないのは、レトロを意識するあまり単に古くさいだけになってしまっただけいけないので、ポップな雰囲気も取り入れるようにしました。お客さんからは「若い女性のセンスが取り入れられていて楽しい」と声をかけてもらえることもあります。

リニューアル後はこれまでに以上に地域との関係を深めようと思っています。お店の前で地域のお祭りを開き、たくさんのお子さん連れが訪れてくれました。銭湯に入りに来てくれる子どもの数も増えてきています。半年も休業していたので不安でしたが、休業前の常連さんたちも戻ってきてくれました。

今後の工夫として挙げられるのは、お風呂場をいろいろなことに活用していくという点です。休業期間中にお風呂場を撮影したいという方が何人か来られて、写真を撮っていたり、お風呂場で写真を撮るというのは普通はないことですが、単にお風呂に入る場所だと考えるのではなく、これまでにない新しい使い方ができるんじゃないかと考えるきっかけになりました。例えば、お風呂場は音がよく響くのでライブ会場として使えるのではないかと、室温が高いからヨガなどに使えるのではないかとアイデアが出てきました。ハンドパンという神秘的な音色の楽器の演奏を聞きながらヨガをしてみよう「銭湯ヨガ」というイベントを開いたこともあります。お風呂場を使ったイベント、教室、ライブなどアイデアをお持ちの方がおられたら、ぜひお話を聞かせただけたらと思います。

他にも、保育士の資格を活かして小さなお子さんをお預かりし、親御さんに安心してお風呂に入ってもらえるようにすることなども検討しています。

4 銭湯で幸せを感じてもらいたい

実際に店主となってみると両親が反対したとおり大変なことがたくさんあり、思うようにできていないこともあります。昔ながらの銭湯のいい点を残しながら、いろいろな新しいことを取り入れて、幅広い世代、分野の人に集まってもらい、お店の屋号のとおり、幸せだと感じてもらえる銭湯を目指していきます。



編集・発行

一般社団法人 和歌山青年会議所

和歌山市西丁丁36番地(和歌山商工会議所5F)
TEL.073-428-3334(代) FAX.073-431-1693
URL: <http://www.wakayama-jc.net>
mail: office@wakayama-jc.net



Junior Chamber International Wakayama